

平成24年度行政評価委員会 議事要旨

会 議 名	葛飾区行政評価委員会 第6回第一分科会
開 催 日 時	平成24年8月24日(金) 午前10時から正午
開 催 場 所	葛飾区役所新館5階 庁議室
出 席 者	【委員7人】 大石会長、網代委員、金木委員、柴田委員、佐々木委員、 曾根委員、浜本委員 【区側4人】 事務局(政策経営部長、経営管理課長、経営管理課職員2人)

会議概要

1 開会

2 葛飾区行政評価委員会の評価結果(案)のまとめ

(「葛飾区行政評価委員会の評価結果(案)」をもとに答申内容の確認を行った)

(1) 消費生活モニター

A委員 消費者問題には男性女性ともに取り組んでいく必要があるため、「男性女性ともに」といった意味の言葉を入れた方がよいのではないか。

B委員 消費者教育を幼少期から行う必要があるということを明記した方がよいのではないか。

A委員 必要経費の支援の検討は、今後、謝礼を廃止した場合が前提であると明記した方がよいのではないか。

(各委員の総意で「所管部評価の妥当性」を総合的に評価し点数化)

C委員 点数を付けた理由を説明することは非常に難しいと考える。

D委員 第二分科会との整合をとるためにも、点数の基準を明確にする必要があるのではないか。

B委員 事務事業ごとに事務事業評価表の記載方法が統一されていないた

め、読みにくいとを感じる。

事務局 事務事業ごとに性質も大きく違っているため一概には言えないが、皆さまの意見は今後の制度設計に活かさせていただく。

(2) 広聴会(自治町会長連絡会・区民と区長との意見交換会実施事務)

C委員 コストについて意見はあまり出なかったが、「特に問題なし」という表記は妥当なのか。

D委員 「問題なし」と判断した分析の経過について記載するべきではないか。

(各委員の総意で「所管部評価の妥当性」を総合的に評価し点数化)

(3) 広報かつしか発行

会長 「工夫」という言葉が多用されているが、具体的な内容を記載するなど、他の表現を用いるべきではないか。

(各委員の総意で「所管部評価の妥当性」を総合的に評価し点数化)

(4) 不法投棄防止対策

各委員 特になし

(各委員の総意で「所管部評価の妥当性」を総合的に評価し点数化)

(5) 総合防災訓練

B委員 「多様な場所」が何を指すのかははっきりわかるような記載にした方がよいのではないか。

C委員 「より」実践的で「実効性」のある訓練という表記がよいのではないか。

(各委員の総意で「所管部評価の妥当性」を総合的に評価し点数化)

(6) 社会参加セミナー

各委員 特になし

(各委員の総意で「所管部評価の妥当性」を総合的に評価し点数化)

会長 本日の皆さまの意見を受けて修正したものを行政評価委員会の評価結果として、区長に答申を行う。意見の答申への反映については、私に一任していただけるか。

各委員 会長に一任する。

3 その他

4 閉会